

## [大分基地] 液化ガス貯蔵設備の容量等の公表義務

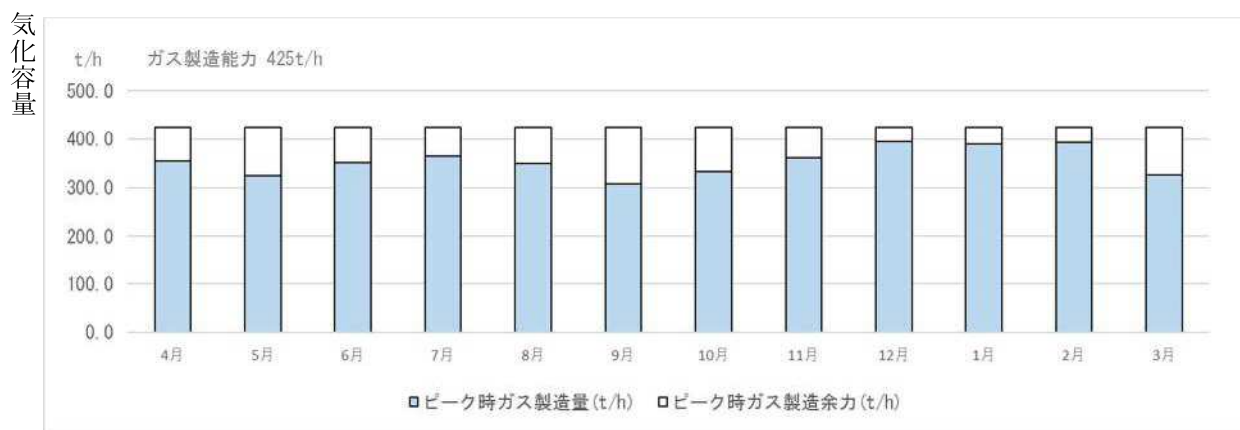
・以下は、ガス事業法施行規則第142条に基づき公表するものです。

### 1 液化ガス貯蔵設備における液化ガスの貯蔵イメージ



- ・上図は、大分エル・エヌ・ジー(株)の年間 LNG 貯蔵量をイメージで表したものです。なお、LNG の受入状況、電気事業者等の需要動向、予定外の設備工事等により変動します。
  - ・2022年3月末時点では、一般的な LNG 船1隻(約6万トン)を受け入れられるだけのルームレント余力はございません。また、ルームシェア方式は条件次第でご利用可能\*となる場合がございますが、実際の貯蔵能力は需給動向や受入状況によって変動しますので、詳細に関しましては別途お問合せください。
- ※LNG 在庫の貸借りを行うことを前提に、年度終了時に在庫が0となるよう、年間を通して一定の割合で払出を実施。

### 2 ガス発生設備におけるガス製造イメージ



- ・上図は、大分エル・エヌ・ジー(株)の年間の月毎の時間当たりの最大気化量(発電用を含む)をイメージで表したものです。
- ・なお、既存一般ガス導管事業者の需要動向、予定外の設備工事等により変動します。詳細につきましては別途お問合せください。

### 3 基地利用希望者が利用できる船舶種類及び船型並びに液化ガスの種類及び品質

#### (1) 船舶種類及び船型

##### ①最大要目

船型	タンク積載量 (トン)	総トン数 (トン)	載貨重量 (トン)	全長 (m)	型幅 (m)	型深 (m)	満載喫水 (m)
メンブレン型	21.7 万m <sup>3</sup> 級	137,535	121,964	315.16	50.0	27.0	12.72
モス型	17.7 万m <sup>3</sup> 級	143,000	90,000	300.0	52.0	28.0	11.90
モス型 (連続タンクカバー)	18.0 万m <sup>3</sup> 級	155,000	80,300	297.50	48.94	27.0	11.50

##### ②最小要目

船型	タンク積載量 (トン)	総トン数 (トン)	載貨重量 (トン)	全長 (m)	型幅 (m)	型深 (m)	満載喫水 (m)
モス型	12.5 万m <sup>3</sup> 級	107,146	67,024	272.0	47.2	26.5	10.95

#### (2) 液化ガス種類及び品質

##### ①液化ガス種類・・・液化天然ガス（LNG）

##### ②品質の目安

組成	メタン 83.00 モル%以上 ブタン以上※ 2.00 モル%以下 ペンタン以上※ 0.10 モル%以下 窒素 1.00 モル%以下 ※ブタン以上とはブタン以上の重質炭化水素(ペンタン以上を含む)、 ペンタン以上とは、ペンタン以上の重質炭化水素を指します。
発熱量	41.00～45.00MJ/m <sup>3</sup> N
その他	硫化水素 標準立方メートルあたり 4.8mg 以下 全硫黄 標準立方メートルあたり 28mg 以下 固形又はその他の不純物及び異物を含まないこと

受入れることができるLNGの品質は、個別の利用条件によって異なるため、上記数値は目安とします。

#### 4 配船計画の策定期間の見通し

	n-1 年度											n 年度
	4月	...	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
ガス受託製造検討 スケジュール				[8月末] 基地利用申込期限				[12月末] 基地利用検討結果通知		基地利用契約協議		基地利用開始
既存事業者 配船計画 スケジュール			[7月末] n 年度配船計画 協議開始		[9月末] n 年度売主提案配船計画 1 次案受領			[12月末] n 年度配船計画 仮合意		[2月末] n 年度配船計画 合意		

なお、上記内容を事前の予告なく変更することがあり、この場合、大分基地の液化ガス貯蔵設備の容量等については、変更後の内容によります。